

科目名	韓国語Ⅱ				担当	裴 湖珠		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	—	
必修	—				ナンバリング	KE108	DPと の関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	韓国語の表記体系を成す文字と文法などをより深く理解する。							
到達目標 学習成果	韓国語と日本語の体系の共通点や相違点などを理解し、韓国語で考える力や思考方法を育み、韓国語でのコミュニケーション力や表現力を高めることを目標とする。 「大韓民国政府（教育省）認定韓国語能力試験」初級に挑戦することが出来る実力を身につけるようにする。							
授業計画	回	内容						
	1	第 11 課	敬語の特殊例、韓国語の中の外来語					
	2	第 12 課	動詞や形容詞の否定文の練習問題					
	3	疑問を表す言葉	「何・いつ・どこ・だれ・どうやって・いくつ」練習問題					
	4	第 13 課	過去形・敬語の過去形 練習問題					
	5	過去形のまとめ	「이다.있다.없다.하다」過去形					
	6	第 14 課	「～しましょう・～しよう」練習問題					
	7	第 15 課	「している・～してください」練習問題					
	8	韓国映画鑑賞①	韓国映画鑑賞による韓国の文化理解①					
	9	韓国映画鑑賞②	韓国映画鑑賞による韓国の文化理解②					
	10	第 16 課・第 17 課	「～できる・～できない」練習問題					
	11	身体	韓国語で身体という言葉勉強					
	12	第 18 課・第 19 課	「してもいい /～しないでください」練習問題					
	13	韓国料理	韓国料理を作る					
	14	第 20 課	「と思います /～するつもりです。」練習問題					
15	発表	韓国語での自分紹介プレゼンテーション						
評価基準	基本的な韓国語の書き取りや読む事が可能か、基本的な会話が可能かで評価する。 最後の授業時に自分紹介プレゼンテーションで評価 「韓国語能力試験」TOPIK I を受け当落可否							
評価方法	授業態度 30% 期末試験 60% その他 10%(授業の中で小テスト)							
フィードバック 方法	小テストは採点後に授業中に返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、グループワーク							
教科書	『基礎から学ぶ韓国語講座』初級 改訂版, 木内 明著, 国書刊行会							
参考書	『韓日・日韓辞書』 必要に応じて授業内にプリントを配布する							
履修条件	「韓国語Ⅰ」を原則受講していること 13回の韓国料理を作る時に、少し材料費の実費が必要 韓国語を理論的に分析し、理解するので言語学に興味をもってほしい							
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・前期と同じに教科書に付いている CD を活用して発音を繰り返して練習すること ・言葉は繰り返し練習が重要である。必ず復習と予習をすること ・ハングルを理解して韓国に対していろいろ勉強をするようになればもっと面白くて楽しい勉強になる ・後期はできる限り韓国語能力試験に挑戦して欲しいので韓国語の単語帳を作ること 							
オフィスアワー	講師室での対応							